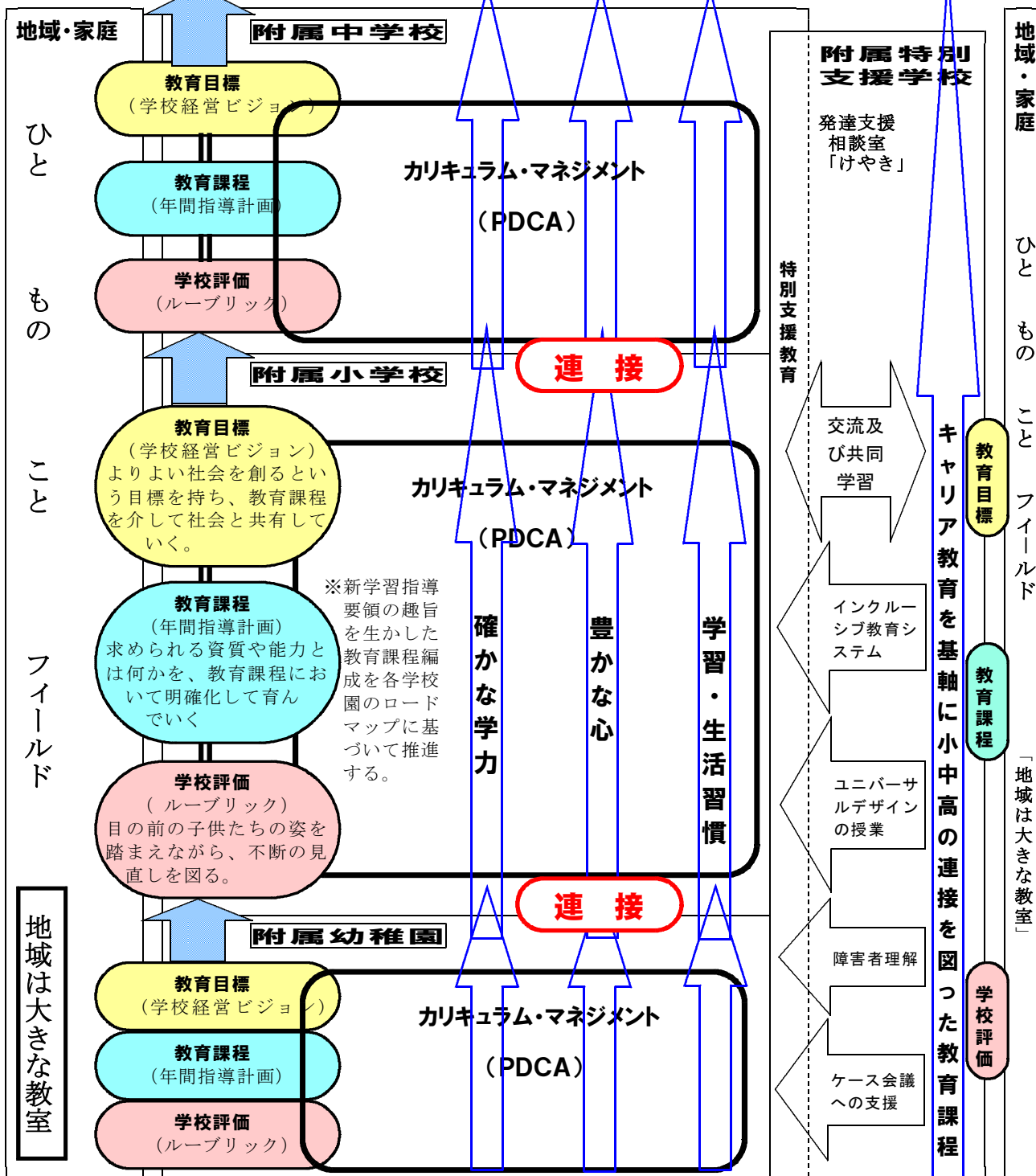


福島大学附属四校園が目指す「社会に開かれた教育課程」

【附属校園で学んだ15歳の姿】

各校園の間像・育みたい資質や能力を接続 + 新学習指導要領の趣旨「子供は未来の創り手」



【幼稚園→小学校→中学校と接続を図る分野】

確かな学力の育成「アクティブラーニング、外国語教育、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業」
 豊かな心の育成「道徳の授業事例集作成・活用、道徳性の調査・教育課程への反映、指導計画別葉の作成・活用」
 学習・生活習慣の定着「スタートカリキュラム、基本的な学習の約束、家庭学習の習慣、心身の健康を育てる生活習慣」

【特別支援学校のかかわり】

交流及び共同学習（児童生徒同士の交流から共同学習へ）
 インクルーシブ教育システム（基礎的環境整備、合理的配慮等への助言）
 障害者理解（小・中学校への授業への教員派遣、児童生徒の授業体験等）
 ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業（発達障害等のある児童生徒に合った授業づくり）
 ケース会議への支援（発達支援相談室「けやき」相談員の附属幼・小・中学校訪問）

【地域は大きな教室】

地域と学校が子供の教育に関する認識を共有し、変化する社会の動きを取り込み、地域と結びついた教育活動を展開することができるようにしていく。